

# 国民大運動 News

2023.10.13

No.5

「軍事費を削って暮らしと福祉・教育の充実を」国民大運動山形県実行委員会  
山形市薬師町2-6-15 山形県労連内

TEL 023-615-2172 FAX 023-615-2173

mail yamagataroren@yahoo.co.jp

## マイナンバー制度の問題点と危険性、明らかに

### マイナ保険証一本化中止を求め学習会

国民大運動山形県実行委員会は9月30日、山形市にある遊学館で「マイナンバーカード学習会」を開きました。

国民大運動代表委員の荻原圭子・県労連議長が主催者あいさつ。「岸田政権は、トラブル続きのマイナカードの保険証一体化になぜこれほどこだわるのか、しっかりと学習しましょう」と呼びかけました。

日本共産党中央委員会・政策委員会の湯浅和己氏が「どうするマイナンバーカード おおもとから変える改革」と題して講演。わかりやすい資料を豊富に提供し、パワーポイントも活用して詳しく解説しました。

湯浅氏は、本人以外の公金受け取り口座への誤登録が14万件、マイナ保険証に他人の情報ひも付けが8,441件、病院でカードを読み取れないなどのトラブル5,493件、マイナ保険証が使用不能71万件などなど、枚挙にいとまがなくミスやトラブルが続出しており、国民の怒りと不安が大きく高まっていると告発しました。そして保険証とのひも付けの本質的な問題は、保険料を払っても無保険扱いが多発するなど国民皆保険制度の変質であり、マイナ保険証で医療費が安くなるなどというのはウソで、実際には多くの国民が負担増となることだと指摘しました。

湯浅氏はさらに諸外国の事例を紹介。ドイツでは1983年に共通番号は憲法違反の判決が下されたなど、G7諸国で規制強化のすすむ個人情報保護の流れに日本は逆行していると批判。政府がマイナカード一元化を強要するのは、財界がもうけのためにマイナンバー制度を徹底活用することに固執しているからだと強調。地方自治体の個人情報保護条例が次々に廃止されるなど、自治体の持つ住民の個人情報かねらわれていることに警鐘を鳴らしました。

こうした情勢を明らかにしながら、湯浅氏は「健康保険証の存続、マイナカードへの一本化を中止して、岸田政権の暴走を止めよう」と講演を結びました。

講演をうけ活発な質疑も交わされて、参加者はさらに理解を深めることができました。

続いて、国民大運動の勝見忍事務局長が当面の行動を提起。9月に庄内町議会が「健康保険証を廃止しないよう求める意見書」を可決したことをふまえ、12月に向けた地方議会への請願の取

り組み、定例的な街頭署名行動、集会・学習会などの開催等、「紙の保険証を残そう」の一点での幅広い運動を前進させようと訴えました。

最後に、代表委員の小林茂樹・県農民連会長が閉会あいさつを行い、国民大運動実行委員会に結集しマイナンバー制度の問題点を広範な国民に知らせ反対世論を盛り上げようと呼びかけました。



講演を熱心に聞く参加者

# “紙の健康保険証を残して！”

## マイナ保険証一本化、撤回を求め毎月行動



シールアンケートで対話する参加者（7月26日）

国民大運動県実行委員会はマイナ保険証の一本化・健康保険証廃止の撤回を求め、6月以降、毎月街頭での行動に取り組んでいます。

7月26日には山形市の山形駅東西自由通路で行動しました。構成団体から計13人が参加し、健康保険証を残すことを求める署名やシールアンケートを呼びかけ、通行人と対話しました。

署名したいと駆け寄ってきた50代女性は「紙の保険証は絶対残すべきです。一つの制度に絞るのではなく、マイナカードと紙の保険証の両方を使えるようにすべきです」と語気を強めながら署名しました。

マイナカードを取得した70代の夫婦は「手続きが面倒でマイナカードは使わない。保険証の一本化を急ぐ必要はなく、どちらも使えるようにした方がよい」と署名しました。

「個人情報漏れるマイナカードはもとからいやだった」と語る20代女性は、急いで入力作業をしたから誤登録が発生したと語り、「なぜマイナ保険証一本化を急ぐのか聞いてみたい」と署名しました。

この日の行動では、60分間で42人が署名しました。「マイナ一本化・紙の保険証廃止に納得できるか」を問うシールアンケートでは、「納得できない」が78.6%（22人）と圧倒的多数を占めました。

8月28日の行動は猛暑の中、山形駅東口で行い11人が参加しました。この日は9月10日投開票で行われた山形市長選挙に「明るい民主市政をつくる会」から立候補した渡辺ゆり子さんも参加し、市民にマイナ保険証一本化の中止を訴えました。

署名に応じた30代の男性は「市民からすると、政府の都合ですすめた結果、ミスと損害が多発している。保険証は今のままでよい」と話しました。

20代女性は「(自分は)マイナカードを取得したが、今までの保険証が廃止になることが多くの人に理解されているとは思わない」と言い署名しました。

国民大運動実行委員会は、今後も毎月行動を行うことにしています。



署名に応ずる多くの市民（8月28日）